



転 倒

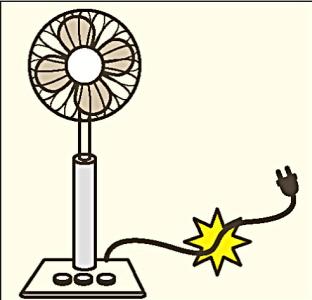
1 こんな時、どのような事故が起きるか 想像してみましょう。(危険予知トレーニング)



事故予防のためのチェックリスト

- 電気機器のコードは乱れていませんか。
- タンスの引き出しあはしっかり閉じられていますか。
- 床に滑りやすいものが置かれていませんか。

事故例



扇風機の
コードで転倒



タンスの
引き出しで転倒



床に置いていた
洗濯物で転倒

— 転倒は各年代共通して最も多く発生しています。 —

2 主な事故 (実際にあった事例です)

高齢者

- 段差につまずいて転倒し、足を骨折
- 床マットで滑り転倒し、股関節を脱臼
- 駅の点字ブロックにつまずいて転倒し、あごをケガ



大人

- トイレに行こうと暗い部屋を移動中に転倒し、あごをケガ
- 毛糸の靴下を履いていたため床で滑り転倒し、腕を骨折



子ども

- 水に濡れた廊下で足を滑らせて転倒し、頭をぶつけた
- スケートボードをしていて転倒し、頭をぶつけた



乳幼児

- 床に置いていた毛布で足を滑らせて転倒し、頭をぶつけた
- 床に落ちていたビニール袋で足を滑らせて転倒し、頭をぶつけた
- 駐車場を歩行中に車輪止めにつまずいて転倒し、頭をぶつけた



3 事故予防対策

整理整頓

部屋の整理整頓を
心がけましょう。



部屋を明るく

行動するときは部屋を
明るくしましょう。



滑らない対策

手すりを設置しましょう。また、スリッパ
や靴下は滑りにくいものを履きましょう。



高齢者では、入院するような大ケガになることもあります。
普段から部屋の整理整頓などを心がけ、事故防止に努めましょう。

